

# FEI グランプリスペシャル 2009

時間 6'40''(参考時間)

競技会名

日付

審判員名

審判員位置

出番順

競技者名

所属

馬名

馬匹の最低年齢:8才

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	A 収縮駢歩で入場 X 停止ー不動ー敬礼 収縮速歩で発進 XC 収縮速歩	10					ベースの質、停止と移行 真直性 コンタクトと項の位置	
2.	C 右手前蹄跡に入る MXK 伸長速歩 KAFP 収縮速歩	10					整正、伸縮性、バランス、 後軀の活力、オーバートラック フレームの伸展、両移行	
3.	PS 左へハーフパス SHC 収縮速歩	10			2		速歩の整正と質、安定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ 肢の交叉	
4.	CMR パッサージュ	10					整正、カダンス、収縮、セルフキャリッジ バランス、活発さ、運歩と背の弾力性 パッサージュへの移行	
5.	RF 伸長速歩	10					整正、伸縮性、バランス、 後軀の活力、オーバートラック フレームの伸展	
6.	パッサージュー伸長速歩ーパッサージュの 移行	10					流暢さ、扶助への反応の良さ、 明確さ、バランス フレームの変化	
7.	FAK パッサージュ	10					整正、カダンス、収縮 セルフキャリッジ、バランス、活発さ 運歩と背の弾力性	
8.	KV 収縮速歩 VR 右へハーフパス RMC 収縮速歩	10			2		速歩の整正と質、安定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ 肢の交叉	
9.	CHS パッサージュ	10					整正、カダンス、収縮 セルフキャリッジ、バランス、活発さ 運歩と背の弾力性	
10.	SK 伸長速歩	10					整正、伸縮性、バランス、 後軀の活力、オーバートラック フレームの伸展	
11.	パッサージュー伸長速歩ーパッサージュの 移行	10					流暢さ、扶助への反応の良さ、 明確さ、バランス フレームの変化	
12.	KAF パッサージュ	10					整正、カダンス、収縮 セルフキャリッジ、バランス 活発さ、運歩と背の弾力性	
13.	FS 伸長常歩	10			2		整正、背の柔軟、活発さ オーバートラック、肩の自由さ ハミへの伸展、常歩への移行	
14.	SHG 収縮常歩	10			2		整正、背の柔軟、活発さ 歩巾の短縮と運歩の高揚 セルフキャリッジ	
15.	G ピアッフェ12ー15歩	10					整正、体重を支える、セルフキャリッジ 活発さ、背と運歩の弾力性 斜対での正しい歩数	

# FEI グランプリスペシャル 2009

出番順

競技者名

所属

馬名

順 序	運 動 課 目	最 高 点	採 点	修 正	係 数	合 計	着 眼 点	観 察 所 見
16.	G 収縮常歩ーピアップフェーパッサージュの移行	10					流暢さ、リズムの維持、収縮、セルフキャリッジ、バランス 真直性、明確な実施	
17.	GMRI パッサージュ	10					整正、カダンス、収縮 セルフキャリッジ、バランス 活発さ、運歩と背の弾力性	
18.	I ピアップフェ12ー15歩	10					整正、体重を支える、セルフキャリッジ 活発さ、背と運歩の弾力性 斜対での正しい歩数	
19.	I パッサージューピアップフェーパッサージュの移行	10					流暢さ、リズムの維持、収縮 セルフキャリッジ、バランス 真直性、明確な実施	
20.	ISEX パッサージュ	10					整正、カダンス、収縮 セルフキャリッジ、バランス 活発さ、運歩と背の弾力性	
21.	X 右収縮駢歩で発進 XBFAK 収縮駢歩	10					明確な実施と流暢な移行 駢歩の質	
22.	KB 右へハーフパス B 踏歩変換	10					駢歩の質 収縮、バランス、安定した屈曲 流暢さ、踏歩変換の質	
23.	BH 左へハーフパス H 踏歩変換 HCM 収縮駢歩	10					駢歩の質 収縮、バランス、安定した屈曲 流暢さ、踏歩変換の質	
24.	MXK 斜線上2歩毎の踏歩変換9回 KAF 収縮駢歩	10					正確さ、バランス、流暢さ、 アップヒル傾向、真直性 前後の駢歩の質	
25.	FXH 斜線上歩毎の踏歩変換15回 HCM 収縮駢歩	10					正確さ、バランス、流暢さ、 アップヒル傾向、真直性 前後の駢歩の質	
26.	MXK 伸長駢歩 K 収縮駢歩、踏歩変換 KA 収縮駢歩	10					駢歩の質、インパルジョン 歩巾とフレームの伸展 バランス、アップヒル傾向 真直性、踏歩変換の質と移行	
27.	A 中央線上に入る D 左へピルエット	10				2	収縮、セルフキャリッジ、バランス 大きさ、諸関節の柔軟性、屈曲 正しい歩数(6ー8歩) 前後の駢歩の質	
28.	DG間 中央線上歩毎の踏歩変換9回	10					正確さ、バランス、流暢さ、 アップヒル傾向、真直性 前後の駢歩の質	
29.	G 右へピルエット C 右手前蹄跡へ入る	10				2	収縮、セルフキャリッジ、バランス 大きさ、諸関節の柔軟性、屈曲 正しい歩数(6ー8歩) 前後の駢歩の質	
30.	MR 収縮速歩 RF 伸長速歩 FA 収縮速歩	10					整正、伸縮性、バランス、 後軀の活力、オーバートラック フレームの伸展	
31.	収縮速歩ー伸長速歩ー収縮速歩の移行	10					リズムの維持、流暢さ、 明確でスムーズな移行の実施 フレームの変化	

# FEI グランプリスペシャル 2009

出番順

競技者名

所属

馬名

順 序	運 動 課 目	最 高 点	採 点	修 正	係 数	合 計	着 眼 点	観 察 所 見
32.	<b>A</b> 中央線に入る <b>DX</b> パッサージュ	10					整正、カダンス、収縮 セルフキャリッジ、バランス 活発さ、運歩と背の弾力性 パッサージュへの移行	
33.	<b>X</b> ピアッフェ12-15歩	10					整正、体重を支える、セルフキャリッジ 活発さ、背と運歩の弾力性 斜対での正しい歩数	
34.	パッサージューピアッフェーパッサージュの 移行	10					流暢さ、リズムの維持、収縮 セルフキャリッジ、バランス 真直性、明確な実施	
35.	<b>XG</b> パッサージュ	10					整正、カダンス、収縮 セルフキャリッジ、バランス 活発さ、運歩と背の弾力性	
36.	<b>G</b> 停止ー不動ー敬礼	10					停止の質と移行、真直性 コンタクトと項の位置	
	手綱を伸ばした常歩でAより退場							
計		<b>420</b>						

## 総合観察

- ペース(自由自在に変わり、かつ整正であること)
- インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後駆のエンゲイジメント)
- 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
- 騎手の姿勢、騎座: 正確かつ有効な扶助

合 計

得点から減点すべきもの/ペナルティポイント

- 1回目 = 2点減
- 2回目 = 4点減
- 3回目 = 失 権

計

10			1	総合観察所見
10			1	
10			2	
10			2	
<b>480</b>				
	1回目			
	2回目			
	3回目			
計				最終得点率%:

過失のリストと運動の脱落は、「過失」の付則を参照のこと

審判員署名

FEI 2009年1月1日施行  
JEF 2009年4月1日施行